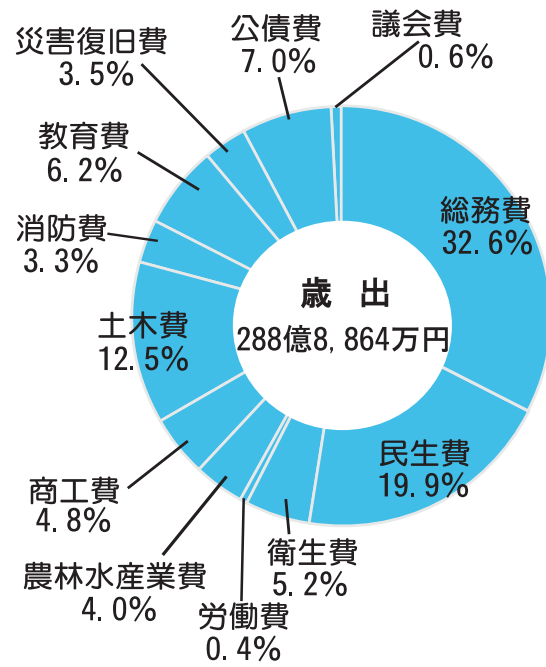
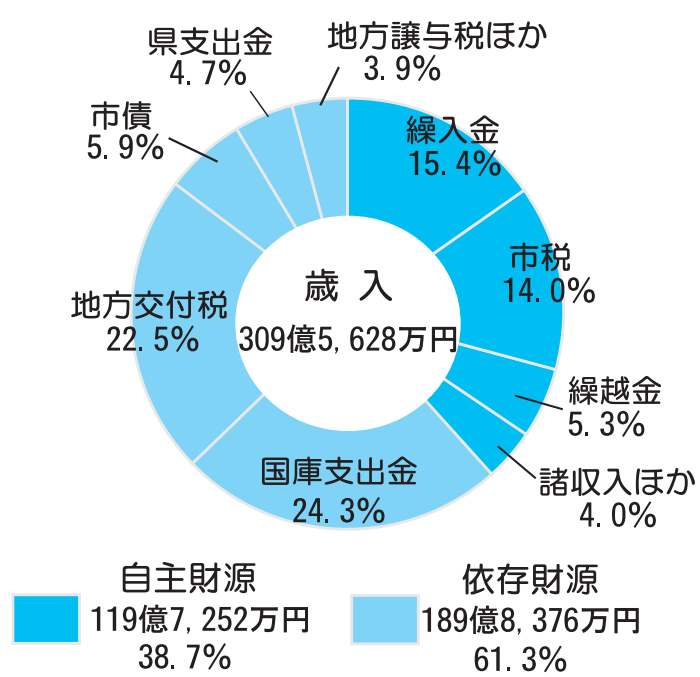


【グラフ2：歳出の内訳】



【グラフ1：歳入の内訳】



平成23年度は東日本大震災の影響で大幅に税収が落ち込みましたが、その後は復興需要に支えられ、個人市民税や法人市民税が堅調に推移するとともに、固定資産税も回復傾向で推移し、平成28年度には市税全体で約44億円に達しました。

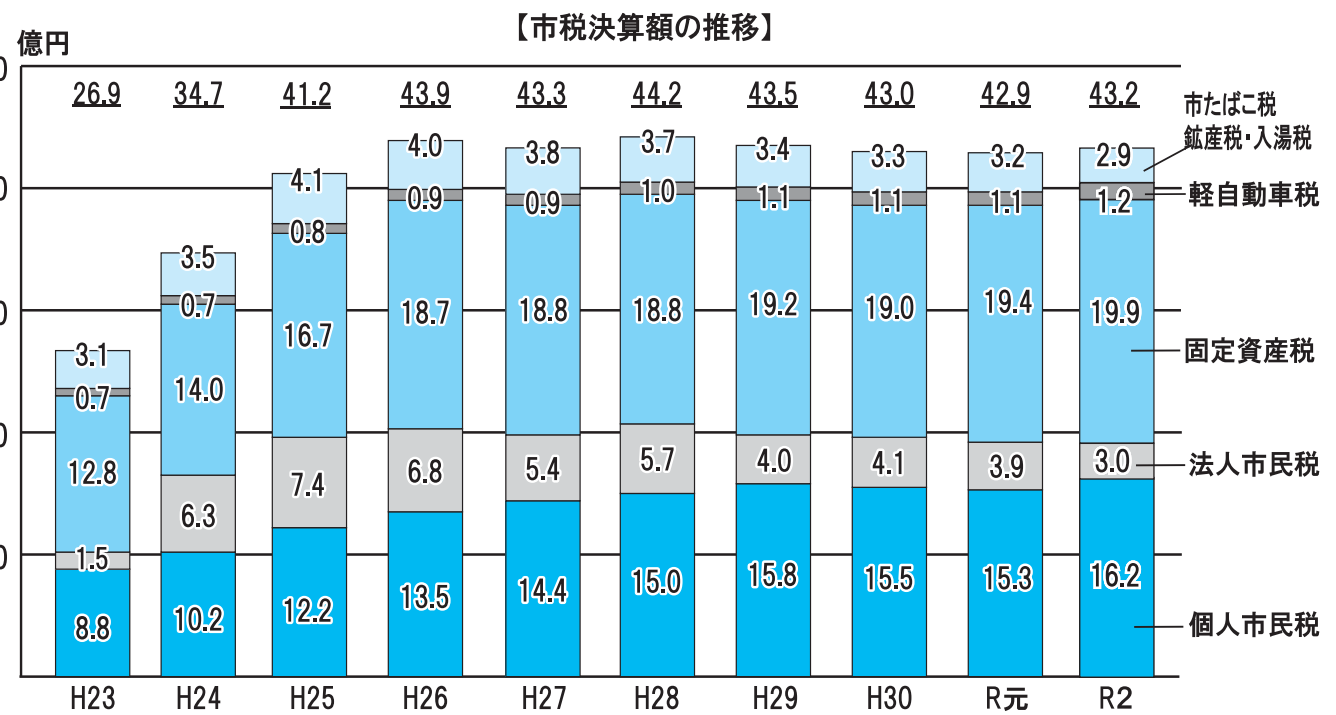
令和2年度は、前年度に比べ0.7%増加し、引き続き震災前を上回る水準を維持しています。

一般会計における市税の収入について

令和2年度の一般会計の歳入309億5,628万円のうち、市税が43億1,727万円となっており、歳入の14.0%を占めています。

令和2年度の市税の決算額のうち、個人市民税が約16.2億円、法人市民税が約3億円、固定資産税が約19.9億円、この3税目で市税全体の90%を占めています。

市税決算額の推移について



一般会計

【歳入】

歳入の内訳(3ページグラフ1)は、国庫支出金が最も多く、次いで地方交付税、繰入金の順となっています。各項目の主な収入は、次のとおりとなりました。

- ・国庫支出金Ⅱ特別定額給付金給付事業費補助金35億4,090万円
- ・県支出金Ⅱ漁村再生交付金6,746万円など
- ・地方交付税Ⅱ震災復興特別交付税12億3,908万円など
- ・市税Ⅱ固定資産税19億9,404万円など

【歳出】

歳出の内訳(3ページグラフ2)は総務費の割合が最も多く、次いで民生費、土木費、公債費の順となっています。各項目の主な支出は、次のとおりとなりました。

- ・総務費Ⅱ特別定額給付事業35億5,697万円、地方創生推進交付金事業1億1,548万円、旧崎浜小学校・旧大船渡消防署施設解体事業1億9,426万円など
- ・民生費Ⅱ放課後児童健全育成事業9,076万円、地域子育て支援センター事業4,014万円など
- ・農林水産業費Ⅱ大船渡市地区漁村再生交付金事業1億3,491万円など

